

「機能別の方向性」(案)

1 「機能別の方向性」とは

「機能別の方向性」は、計画の「目指す姿」の実現に向けて、公共施設・都市インフラ施設の機能分類ごとに、「基本方針」に基づく取組の方向性を示すものです。

これまで検討を進めてきた「目指す姿」、「基本方針」に基づき、公共施設等の「機能別の方向性」に関する検討を進めています。

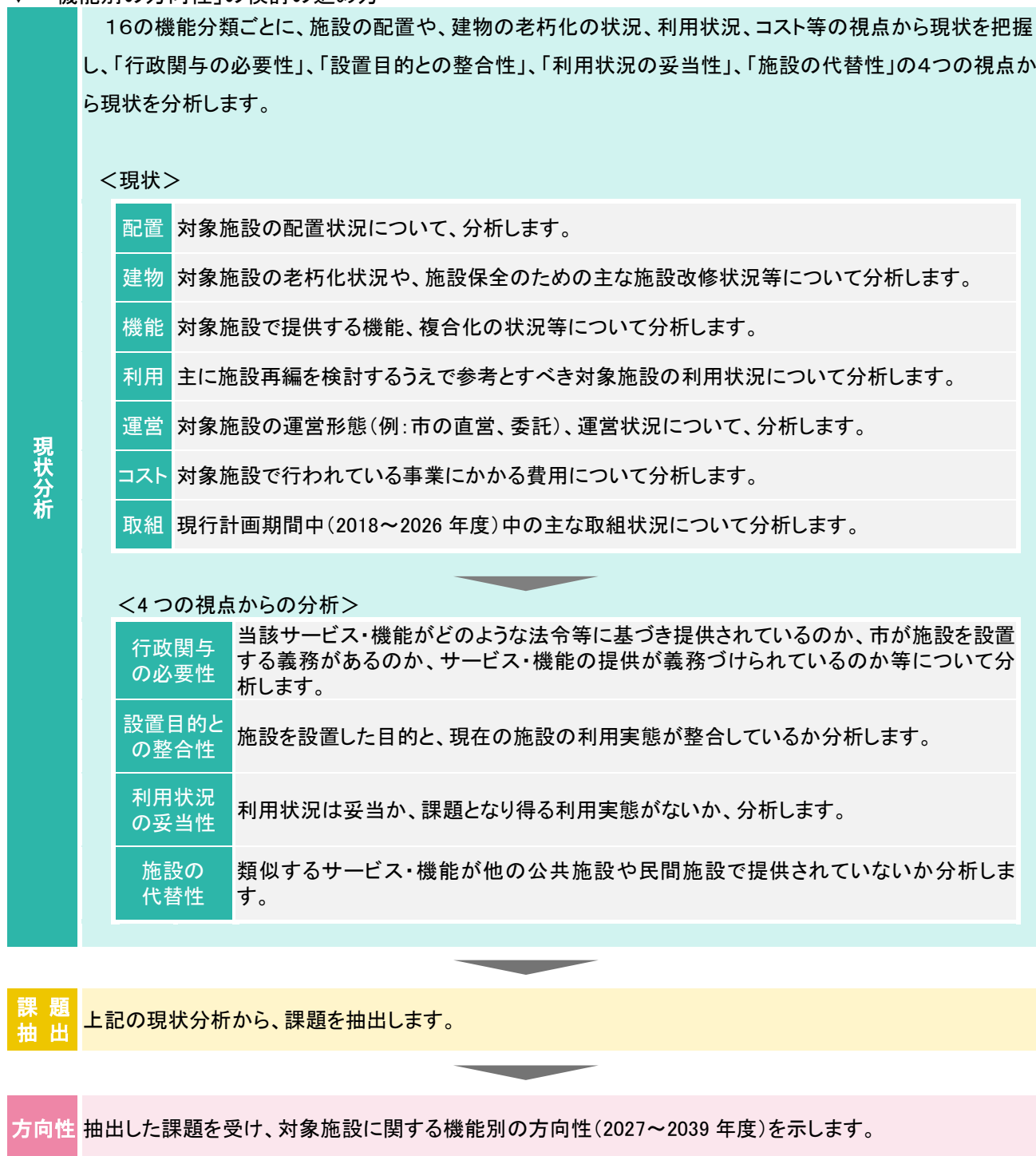
▼ 参考:計画の構成



2 「機能別の方向性」の検討の進め方

「機能別の方向性」は、下表のとおり現状分析を行い、課題を抽出のうえ、2039年度までを見据えた方向性として、16の機能分類ごとに検討を進めています。

▼ 「機能別の方向性」の検討の進め方



3 「機能別の方向性」(案)

※「機能別の方向性」(案)詳細は別紙参照

機能	対象施設	機能別の方向性(案)
A 教育	・小・中学校 ・その他教育関連施設(教育センター、中学校給食センター、(学びの多様化学校))	● 「地域活用型学校」の実現に向けて、地域コミュニティのあり方の変化等を踏まえ、機能や運用等を具体化し、多様な人々が交流し活動する愛着ある地域の拠点としていく。 ● 更新にあたっては、集約化や複合化・多機能化等により、中長期的な見通しのもと、更新・維持管理可能な水準まで施設総量を圧縮するとともに、優先順位を整理のうえ財政負担の縮減・平準化を図る。 ✓ 学校プールは、集約化や民間温水プールの活用拡大など、より効率的・効果的な提供を図る。 ✓ 「学びの多様化学校」の設置にあたっては、既存ストックの活用や、複合化・多機能化などにより、施設総量の圧縮や、財政負担の縮減、機能強化等を図る。 ✓ (仮称)子ども・子育てサポート等複合施設は、着実に整備等を進めていき、民間事業者のノウハウを活かした効率的・効果的な管理運営を進めていく。 ✓ 中学校給食センターは、鶴川エリア中学校給食センターのリース期間終了を見据え、あり方を見直すとともに、民間活力を活かし、効率的・効果的な管理運営を進めていく。
B 子ども・子育て	・保育園 ・子ども発達センター ・学童保育クラブ ・子どもセンター ・子どもクラブ ・子ども創造キャンパスひなた村	● 複合化・多機能化により、施設総量を圧縮しつつ、学校等の他機能と連携するなどして、より魅力的な場づくりや、支援の充実化を図る。 ✓ 学童保育クラブは、学校統合等に併せて、学校施設内の低層階に複合化して整備することとし、建物は単独での建替えは行わない。整備にあたっては、児童の利用が見込まれない時間帯や将来的な入会児童数の減少を見据え、学校施設と育成スペースとのタイムシェアを前提とした施設の配置や規模とする。 ✓ 子どもセンター・子どもクラブ、子ども創造キャンパスひなた村は、市民センター・コミュニティセンターといった対象を限定しない集会施設や、地域の拠点となる学校など、周辺公共施設の大規模改修や建替えの時期を捉えて施設規模を見直したうえで複合化・多機能化することとし、原則として単独での建替えは行わない。その際、子どもが自由に来館し、遊べる環境の確保、セキュリティへの配慮、乳幼児の保護者も利用しやすいようなつくり方に留意する。 ✓ 公立保育園は、建物の老朽化に伴う更新の時期を見据えて、周辺公共施設等との複合化・多機能化を優先的に検討することとし、検討の結果、複合化・多機能化による更新の効率化が困難な場合等を除き、原則として単独での建替えは行わないこととする。更新にあたっては、将来の保育ニーズの増減を見据えた定員の適正化に留意する。 ✓ 森野三丁目保育園は、建物の老朽化に伴う更新の時期を見据えて、施設の存廃を含めたあり方を見直し、更新する場合は、市の財政的負担の最小化を図ることとする。 ✓ 子ども発達センターは、民間活力導入に向けた検討結果を踏まえ、より効率的・効果的なサービス提供の実現に向けた管理運営手法の見直しを実施する。
C 高齢・障がい福祉	・ふれあい館 ・公設デイサービス ・わくわくプラザ町田 ・障がい福祉施設(わさびだ療育園、町田ダリア園、町田リス園、大賀藕絲館、授産センター、町田ゆめ工房、こころみ等)	● 必要な機能の他施設への移転や民営化等により、施設総量を圧縮しつつ、公共の福祉施設に限らず民間施設での提供も含めて、より身近な場所でサービスを受けられる機会を確保する。 ✓ ふれあい館は、建物の建替えは行わず、引き続き事後保全のうえ計画的に廃止していくとともに、ふれあい館で行っている健康づくり等の事業は、より身近な地域で行う取組への移行を進めていく。 ✓ 公設デイサービスは、周辺地域のデイサービスの供給状況、利用者への影響等を考慮のうえ、市有財産の売却や譲渡等を含めた民設民営化を段階的に進めていく。 ✓ わくわくプラザ町田は、周辺のまちづくりや公共施設再編に併せて、必要な機能を移転・複合化し、単独での建替えは行わない。 ✓ 町田ダリア園、町田リス園は、障がい者の就労の場であるとともに、観光施設としての側面もあることを踏まえ、町田薬師池公園四季彩の杜の魅力向上につながる活用を図る。

(凡例)

●・・・機能全体に係る方向性

✓・・・個別施設等に係る方向性

機能	対象施設	機能別の方向性(案)
D 保健・医療	・保健施設 (保健所中町庁舎、健康福祉会館、鶴川・忠生保健センター) ・医療施設(町田市民病院、旧町田市民立看護専門学校)	● 複合化や既存資源の活用等により施設総量を圧縮しつつ、利便性の向上や機能の充実化を図る。 ✓ 健康福祉会館で提供している母子保健機能、小児救急診療機能等は、(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設へ複合化し機能の充実化を図るとともに、歯科診療機能はあり方を見直しのうえ移転を図る。なお、移転後の建物は廃止し総量の圧縮を図る。 ✓ 保健所中町庁舎は、更新時期を見据え、集約化・複合化等を含めた効率的・効果的な更新を図る。 ✓ 町田市民病院は、病院施設を適切に維持保全し長寿命化を図るため、計画的な改修等を実施していくとともに、経営基盤の強化に向けた見直しや、継続的な経営改善を図る。 ✓ 旧市立看護専門学校は、建物の老朽化に伴う更新時期を見据え、既存施設が担う機能の提供方法等のあり方や、必要に応じた施設の更新の方法について、検討・整理していく。
E 防災	消防器具置場 災害備蓄倉庫 防災倉庫 防災行政無線中継局舎	● 市民の生命を守るための施設として、耐用年数まで利用できるよう計画的な保全を行う。 ● 適正な規模・配置を整理のうえ、地域の拠点となる施設への複合化・多機能化や、既存資源の活用等により、効率的・効果的な更新を図る。 ✓ 消防器具置場は、消防団のあり方見直しにあわせて適正な規模・配置を整理のうえ、地域の拠点となる施設への複合化・多機能化、集約化など、効率的・効果的な方法での更新を進めていく。 ✓ 災害備蓄倉庫は、感染症対策物品等を含む備蓄の適正量を整理のうえ、公共施設の余剰スペースや民間倉庫の活用などにより、効率的かつ計画的な必要スペースの確保を図る。 ✓ 避難施設は、学校再編に合わせ、適正な規模・配置を整理のうえ、学校跡地への継承、民間施設の活用など、効率的な方法での実現を図る。
F 集会	・市民センター、コミュニティセンター ・町内会・自治会等集会施設 ・その他集会施設 (町田市民フォーラム、町田市文化交流センター)	● 地域コミュニティのあり方の変化や、小・中学校の「地域活用型学校」への位置づけなどを踏まえ、役割や機能を改めて見直し、適正な規模・配置を整理のうえ、効率的な方法での更新を進めていく。 ● 更新にあたっては、集約化や複合化・多機能化により、施設総量を圧縮する。 ✓ プラザ町田ビル内に位置する町田市文化交流センターは、利用状況や、他の周辺公共施設での類似機能の提供状況、まちづくりの動向等を踏まえ、必要に応じて他機能への転用など、より効果的な活用を図る。 ✓ 上小山田コミュニティセンターは、建物の更新時期を見据え、あり方を見直しに向けた検討を行う。 ✓ 町内会・自治会等集会施設は、市で建替えは行わず、地域主体の更新等に対し必要な支援をしていく。
G 公園・緑地	・公園・緑地 ・都市公園、都市公園以外の公園、町田市ふるさとの森(市立公園を除く) ・公園施設(建物(スポーツ施設、美術館等を除く)を有する公園)	● 市民の憩いの場、レクリエーション空間のほか、運動する場、地域防災の拠点など、様々な役割を担う公園・緑地について、集約型の都市構造への再編を見据えたあり方の検討や、管理のさらなる適正化を進める。 ● 総合公園等の規模の大きな公園や地理的資源を有する公園については、民間活力を活かし、公園の魅力向上を図るとともに、効率的・効果的な管理運営を推進する。 ● 街区公園その他の住宅に身近な公園については、安全性、景観、防災機能等の確保に向け、地域住民との協働による維持管理を進める。 ✓ 包括的指定管理者制度の導入効果を検証するとともに、必要に応じ、より効率的・効果的な維持管理等に向けた見直しを図る。 ✓ 芹ヶ谷公園等の市を代表する公園については、その魅力向上に向けて効果的な民間活力の導入を図る。 ✓ 公園施設の老朽化に伴う更新にあたっては、公園利用者の安全・安心を確保するとともに、将来の改築・修繕に係るコストの低減、及び平準化を図ることため、修繕等に優先順位をつけて計画的に実施していく。

機能	対象施設	機能別の方向性(案)
H 図書・生涯学習	・図書館 ・生涯学習センター	● 集約化や複合化・多機能化により、施設総量を圧縮しつつ、地域や民間の力を取り入れた新たなサービスの提供や、学校図書館の地域活用等により、図書に親しむ機会や生涯学習の場の充足を図る。 ✓ 民間活力の導入や、ICTの活用など、効率的・効果的な図書館サービスの提供を図る。 ✓ 近接するさるびあ図書館と中央図書館は、効率的・効果的なサービス提供のため、集約化を進めていく。 ✓ 木曽山崎図書館は、更新時期の到来に向け、多摩都市モノレール延伸を見据えたまちづくりや、周辺公共施設の更新等と連動し、他施設への多機能化・複合化等を含めた効率的な更新を図る。 ✓ 生涯学習センターは、引き続き民間活力を活用した効率的・効果的な管理運営を推進する。
I 文化・芸術	・文化ホール(町田市民ホール、鶴川緑の交流館) ・美術館・博物館 ・文化財等(旧荻野家住宅、旧白洲邸武相荘等) ・その他文化・芸術施設(市民文学館、自由民権資料館、考古資料室、ふるさと農具館、フォトサロン、慰霊塔会館等)	● 集約化や複合化・多機能化を進め、施設総量を圧縮しつつ、効果的な民間活力の導入や、施設の一層の有効活用、他機能への転用等により、魅力向上や収益性の向上を図る。 ✓ 文化ホールは、利用率の低い諸室の効率的・効果的な活用を図る。 ✓ 町田市民ホールは、建物の老朽化に伴う更新時期の到来を見据え、あり方を見直し、効率的・効果的な更新を図る。 ✓ 美術館は、「芹ヶ谷公園”芸術の杜”」を、市民の声を聴きながら、より実現性の高い事業計画へ見直し、整備を進めていく。また、市立博物館の収蔵品と機能は工芸美術館へ継承する。 ✓ ふるさと農具館は、建物の老朽化に伴う更新時期の到来を見据え、「薬師池公園四季彩の杜北園」整備の方向性を踏まえたあり方を検討し、検討結果に基づき必要に応じて効率的・効果的な更新を図ることとし、単独での建替えは行わない。 ✓ 市民文学館は、建物の老朽化に伴う更新時期の到来を見据え、民間活力の効果的な導入に向けた検討を進めていく。 ✓ 町田市フォトサロンは、障がい者の就労の場としての機能を有していることに留意しつつ、町田薬師池公園四季彩の杜の魅力向上に向けて、民間活力を活かした効果的な活用方法を検討し、関係団体等との調整を丁寧に行いながら、着実に推進していく。 ✓ 文化財等は、一般的な公共施設における改修等の更新サイクルとは区別して、文化財保護法等に基づき適切に維持保全する。 ✓ 町田市考古資料室は、アウトリーチによる展示、集約化、既存施設の活用等により、展示・収蔵スペースの効率的な確保を図ることとし、これらによる効率化が困難な場合を除き、原則として単独での建替えは行わないこととする。
J スポーツ	・体育館(総合体育館、サン町田旭体育館) ・プール(室内プール、中学校温水プール) ・屋外運動場(陸上競技場、小野路球場、三輪みどり山球場) ・その他スポーツ施設(クラブハウス、スポーツ広場、木曽中学校校庭照明設備)	● スポーツを「する」場、「みる」場について、学校の地域開放など、スポーツ施設以外の配置状況も踏まえ、適正規模・適正配置の考え方を整理する。 ● 適正規模・適正配置の考え方に基づき、必要に応じ既存スポーツ施設のあり方を見直し、民間活力の導入や、遊休地の有効活用、ネーミングライツ等による財源確保、収益性の向上などにより、効率的・効果的な更新や確保、管理運営を図る。 ✓ 町田木曽山崎パラアリーナは、誰もがスポーツに親しむことができる場や、地域の健康づくり・多世代交流の場、福祉避難所などの災害時の拠点として、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を着実に推進する。 ✓ 総合体育館、陸上競技場、サン町田旭体育館は、老朽化に伴う更新時期の到来にあわせて、効果的な管理運営に向けた機能転換や、効率的な更新に向けた見直しを行い、利用者への影響を考慮のうえ、計画的な改修を進めていく。 ✓ クラブハウスは、学校施設等の建替えを見据えてあり方を見直すこととし、単独での建替えは行わない。

機能	対象施設	機能別の方向性(案)
レクリエーション・観光	・自然休暇村 ・大地沢自然交流サイト ・七国山ファーマーズセンター ・小野路宿里山交流館 ・町田シバヒロ ・デゴイチ機関車上屋 ・金森市民農園管理棟	● 効率的な更新や、施設総量の圧縮を図るとともに、効果的な民間活力の導入等により、更なる魅力向上、管理運営の効率化を進めていく。 ✓ 大地沢自然交流サイトは、指定管理者制度導入による効果を検証のうえ、更新時期の到来を見据え施設のあり方を見直し、必要に応じ効率的・効果的な更新を図る。 ✓ 町田シバヒロは、隣接する町田第一小学校の老朽化に伴う建替え時に活用する。小学校の建替えまでの間は、中心市街地の活性化に寄与できるよう、まちの魅力発信や賑わいを創出する拠点、人々が憩い交流するゆとりの空間として運用する。また、効率的・効果的に管理運営し、必要に応じて環境向上を図る。 ✓ 子ども発達センター敷地内のデゴイチ機関車上屋は、子ども発達センターの廃止にあわせて、市の財政的負担を最小限に抑える方法での廃止を図る。
産業	・町田新産業創造センター ・町田ターミナルプラザ	● あり方、機能の見直しや、効果的な民間活力の導入等により、運営を効率化するとともに、更なる産業振興を図る。 ✓ 町田新産業創造センターは、将来的に現建物が老朽化に伴い使用不能となる時期を見据え、創業支援のあり方等の見直しに関する方向性に応じて、再編を進めていく。 ✓ 町田ターミナルプラザについて、建替えの際には、区分所有者との協議、調整の上、民間活用を含めた検討を行う。
M暮らし・ライフライン	・市営住宅 ・公共トイレ ・ごみ関連施設(バイオエネルギーセンター、資源化施設、剪定枝資源化センター、排水浄化センター、境川クリーンセンター等) ・下水道施設(成瀬・鶴見川クリーンセンター、鶴川ポンプ場) ・下水道(都市インフラ施設)	● 市民の暮らしに必要な施設として、安全・安心を最優先とした計画的な保全を行うとともに、長期的な視点で財政負担の縮減や、平準化を図る。 ✓ 下水道は、老朽化に伴う重大な事故を未然に防ぐとともに、今後、増加が見込まれる更新費用の平準化を図るため、民間活力の効果的な導入などにより、アセットマネジメントを推進する。また、テクノロジーの活用などにより、点検・診断等の更なる効率化を図る。 ✓ 剪定枝資源化事業は、市内民間事業者の処理施設での処理に移行することとし、剪定枝資源化センターを、借地期間の終了を見据え計画的に廃止していく。 ✓ 資源化施設は、相原地区と上小山田地区の2か所への整備を推進する。 ✓ 市営住宅は、大規模改修や建替えの際、人口や低額所得者数の動向に合わせて施設を適正な規模に縮小する。 ✓ 公共トイレは、その他の周辺公共施設内の公共トイレや、民間事業者等による公共トイレの提供状況を踏まえ、施設の存廃を含めた検討を行う。
N交通	・バスターミナル ・駐車場、自転車駐車場、木曾自転車等保管場所 ・道路(都市インフラ施設) ・橋梁(都市インフラ施設) ・その他の道路資産(都市インフラ施設)(ペDESTリアンデッキ、街路灯、防護柵、道路反射鏡)	● 安全・安心を最優先とした計画的な保全や、点検等の効率化により、財政負担の縮減や平準化を図る。また、まちづくりと連動した更新・整備により、魅力向上を図る。 ✓ 自転車駐車場は、民間活力導入による効率的な管理運営・更新を進めていく。また、市で建替える場合は、需要に見合った施設規模へ見直しのうえ建替えることとする。 ✓ 旧原町田一丁目駐車場・自転車駐車場は、「JR 町田駅南地区まちづくり整備方針」に基づく再開発事業の中で、更新・土地活用を図っていく。 ✓ 相原駅東口自転車駐車場は、周辺まちづくりと連動した更新・土地活用を検討・実施していく。 ✓ 町田駅周辺におけるペDESTリアンデッキ及びバスセンターは、「(仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針」を踏まえて、まちづくりと連動した整備や再編を進める。 ✓ 橋梁やペDESTリアンデッキ、横断歩道橋、エレベーター、エスカレーターなどの道路施設は、適正な施設量を確保するとともに、計画的な点検、修繕を実施し、更新時期の平準化やライフサイクルコストの最小化、事後保全型から予防保全型の管理への転換等を図る。また、点検・修繕の実施にあたっては、新技術の活用などにより、コスト縮減や管理の効率化を図る。

機能	対象施設	機能別の方向性(案)
〇 庁舎・窓口	・市庁舎 ・市民センター ・連絡所 ・その他庁舎・窓口施設(土木・公園サービスセンター、町田市民フォーラム)	● 集約化や多機能化・複合化により、施設総量の圧縮を図るとともに、地域の拠点としての機能強化など、利便性の向上や機能の充実化を図る。また、既存施設の有効活用などにより、効率的な更新を図る。 ✓ 庁舎機能については、建物の更新や移転等にあたって、既存施設を有効活用するなど、効率的な方法を検討・実施していく。 ✓ 窓口機能は、DX等の推進により目指す、誰もが時と場所を問わず手続き等ができる環境の実現に向けて、その適正配置について見直し、効率的・効果的なサービス提供、及び施設総量の圧縮を図る。
Ｐ 未利用	・未利用施設(井口ホーム、木曽福祉サービスセンター等)	● 公共施設の再編等により生み出した低・未利用(予定)の空間・建物等は、市民サービスの向上と安定的な財源確保の観点から、処分・貸付を含めた積極的かつ戦略的に活用する。 ✓ 町田駅周辺や多摩都市モノレールの町田方面延伸ルート周辺にある低・未利用(予定)の建物等は、まちづくりと連動した効果的な活用を検討・実施する。 ✓ 学校跡地をはじめ周辺地域への影響が大きい財産は、公共的な活用や地域のニーズ等を踏まえた活用を検討する。